

第 8 回講義予習課題

助教授 濱本 正太郎

注意

- 1 . 今回の範囲は、5.6 Peaceful settlement of disputes (pp. 103-104)と、10 Mechanisms for Promoting...
- 2 . 今回は、ページ数も「注意すべき問題」の数も少ない。空いた時間を使って、「用語」に挙げた各紛争処理機関のウェブサイトをチェックしておくこと。

注意すべき問題

5.6 Peaceful Settlement of Disputes

10 Mechanisms for Promoting Compliance with International Rules and Pursuing the Prevention or Peaceful Settlement of Disputes

10.1 Introduction

10.2 Traditional Mechanisms for Promoting Agreement

- ・ 5 つの紛争処理手段の定義を整理

10.3 Traditional Mechanisms for Settling Disputes by a Binding Decision

- ・ 常設仲裁裁判所について Martens や Asser が述べていることは、同裁判所のどのような性格を表しているか。
- ・ 常設仲裁裁判所と常設国際司法裁判所（現・国際司法裁判所）との違いを整理する。
- ・ 全ての裁判形態に共通する点は？

10.4 The New Law: An Overview

- ・ 新たな傾向を整理

10.5 The General Obligation to Settle Disputes Peacefully

10.6 Resort to Traditional Means

- ・ この節の最後の段落で触れられている点は、最近よく学説で議論される問題である。何が問題なのか、また、Cassese はどのように考えているか、簡潔にまとめよ。

10.7 Strengthening and Institutionalization of Traditional Means

10.7.1 Resort to Compulsory Conciliation or Adjudication

10.7.2 The Increasing Dispute-settlement Role of UN Organs

10.8 The Establishment of More Flexible Mechanisms for Either Preventing or Settling Disputes

10.8.1 Quasi-judicial Compulsory Settlement of Trade Disputes

- ・ここに書かれていることは、「国際通商と法」でより詳しく学ぶ。

10.8.2 International Supervision

- ・裁判手続とどのように異なるか。
- ・なぜこの形態が用いられるか。

用語

- ・ p. 103 Chapter VI 国連憲章の第6章
- ・ p. 103 the UN Declaration on Friendly Relations of 1970 友好関係原則宣言
- ・ p. 103 the Manila Declaration on the Peaceful Settlement of Disputes
東信堂の条約には収録
- ・ p. 212 substantive rules
- ・ p. 212 third-party ascertainment
- ・ p. 213 Hague Convention for the Peaceful Settlement of Disputes 国際紛争平和的処理条約
- ・ p. 214 the Statute of the ICJ 国際司法裁判所規程
- ・ p. 215 the Permanent Court of Arbitration 常設仲裁裁判所
<http://www.pca-cpa.org/> 必見
- ・ p. 215 compromis
- ・ p. 216 the Permanent Court of International Justice 常設国際司法裁判所
- ・ p. 216 the International Court of Justice 国際司法裁判所
<http://www.icj-cij.org/> 必見
- ・ p. 218 arbitration と adjudication とは、ここではどのように使い分けられているか？
- ・ p. 219 the European Court of Human Rights ヨーロッパ人権裁判所
<http://www.echr.coe.int/>
- ・ p. 219 the Inter-American Court of Human Rights 米州人権裁判所
<http://www.corteidh.or.cr/>

- p. 219 within the European Community これは、The Court of Justice of the European Communities = 欧州共同体司法裁判所のこと。欧州連合(EU)成立後も、この名称は変わっていない。 <http://curia.eu.int/>
- p. 219 within the EFTA =EFTA Court <http://www.eftacourt.lu/>
- p. 219 the International Tribunal for the Law of the Sea 国際海洋法裁判所
国連海洋法条約第 15 部により設立された裁判所。 <http://www.itlos.org/>
- p. 219 ICTY International Criminal Tribunal for ex-Yugoslavia
旧ユーゴスラヴィア国際刑事裁判所 <http://www.un.org/icty/>
- p. 219 ICTR International Criminal Tribunal for Rwanda
ルワンダ国際刑事裁判所 <http://www.icttr.org/>
- p. 219 the Special Court for Sierra Leone シエラレオネ特別裁判所
<http://www.sc-sl.org/>
- p. 219 the Iran-US Claims Tribunal イラン・米国請求県裁判所 判例 57 参照
- p. 220 the 1959 Antarctic Treaty 南極条約
- p. 222 ICSID 投資紛争解決国際センター <http://www.worldbank.org/icsid/>
「国家と他の国家の国民との間の投資紛争の解決に関する条約」により設立
- p. 223 the UN Compensation Commission 国連補償委員会 <http://www.unog.ch/uncc/>
- p. 223 GATT 関税と貿易に関する一般協定
- p. 223 WTO 世界貿易機関 <http://www.wto.org/>
GATT と WTO については、「国際通商と法」で学ぶ
- p. 227 the 1965 Convention on Racial Discrimination 人種差別撤廃条約
- p. 228 the 1966 Covenants on Human Rights 複数形に注意
経済的、社会的および文化的権利に関する国際規約
市民的及び政治的権利に関する国際規約
- p. 228 the 1956 Slavery Convention 奴隷制度、奴隷取引ならびに奴隷制度類似の制度
および慣行の廃止に関する補足条約
- p. 228 the 1984 UN Convention against Torture 拷問禁止条約
- p. 228 the International Agency for Atomic Energy 国際原子力機関
<http://www.iaea.org/>
- p. 228 the 1967 Treaty on the Peaceful Use of Outer Space 宇宙空間の平和利用に関する条約
- p. 228 the Optinal Protocol to the Covenant 市民的及び政治的権利に関する国際規約
の選択議定書

事例・裁判例

- ・ p. 103 Nicaragua 判例集 118
- ・ p. 103 Status of Eastern Carelia 判例集 104A
- ・ p. 104 Dogger Bank incident 判例集 102A
- ・ p. 219 Mavrommatis Palestine Concessions (Merits) 判例集 91A (b)
- ・ p. 219 Haya de la Torre 判例集 3B
- ・ p. 222 Southern Bluefin Tuna みなみまぐろ事件 国際法外交雑誌 100 巻 3 号(2001 年)参照

参考文献

田岡良一『国際法 III』(有斐閣、新版、1973 年)

紛争処理に関する国際法を本気で学びたいならば、まずは何よりもこの名著を読破しなければならない。30 年経た現在になっても、そしてその結論自体はもはや「古くさい」ものとなった今になっても、その透徹した論理と他に類を見ない現実感覚は圧倒的迫力を保っている。英語・フランス語を見渡しても、これを越える書はいまだ現れていない。

国際法学会編『日本と国際法の 100 年 第 9 巻 紛争の解決』(三省堂、2001 年)